



進路だより



H30年度 11月号

～ 2018年の締めくくりの時を迎えて ～

今年も残すところ、あと1か月ほどになりました。この2018年はどんな年になったでしょうか？高校生活とは不思議なもので、時間の経過がとても早く感じるものです。「運動会があって中間考査が終わってからはや2か月もたって、もう期末考査だ！」という感覚でしょうか。一日一日を大切に、できる限りの対策を練って期末考査に臨みましょう。3年生の皆さんは、センター試験まであと約50日。体調管理に気を付けて、悔いのないよう頑張ってください。

11月号は、愛媛大学の研究室体験での体験談やキャリア教育講演会に参加した皆さんの感想文の一部を掲載します。

愛媛大学 研究室体験

愛媛大学の研究室体験は、毎年恒例となっているSSH事業の一つで、209HRの皆さんと3年生の普通科理型クラスの希望者が参加しました。研究室体験に参加した生徒の皆さんの感想を紹介しますので、進路選択の参考にしてください。(一部抜粋)

【教育学部 数学教育講座】

1日目は、石取りゲームの必勝法についての講義でした。「n山取り」というゲームの必勝法を考えました。これを考えるときに、コンピュータの概念に使用される演算を使いました。理論までは詳しく説明されませんでしたでしたが、石取りゲームと全く関係のないように思えるものが結び付けられるということに驚きました。2日目は、1日目とは全く違ったものでした。私たちが主に学んでいる数学は「ユークリッド幾何」というもので、「他の種類の数学もあり、前提条件によってそれぞれの数学に違いが現れる。教育の現場でも、間違った答えをすぐに否定せず、何故そうになったか、つまり、その人の数学の前提条件はどのようなものかということを理解し、その上であらゆる意見と擦り合わせていくことが必要だ。そうやって正しい知識を残していく」ということを聞いて、とても感心し、納得しました。私たちが理論を組み立てるには、擦り合わせをするための矛盾した存在が必要ということが分かりました。いろいろな数学を知ることができて面白かったです。

【農学部知的植物食糧生産科学】

今回の研究室体験で、植物工場についてより興味を持つことができました。1日目は、植物工場でどんなことをどのような目的で行っているのかについて説明していただきました。一般的な農家が1haの田を耕してコメを作っても8万円位しか年間で稼げないのに対して、植物工場と同じ面積のトマトを作ると1億円位の売り上げがあると聞いて、農業の情報化がどれほど大事なことなのかをより理解することができました。そして、農家の人口が減ってきている現代にこの技術が開発されることで、農家の人口が増えるのではないかと思いました。2日目は、まず自分たちでセンサーを作って実験に使いました。距離を測るセンサーは植物を上から撮って成長量を調べるのに使ったり、温度や湿度を測るセンサーは室内の温度調節をするのに利用されたりしていました。農業をこのように数値化することで安定した農業ができ、経験が少ない人でも統計学などを勉強しさえすれば農業でお金を稼いでいけるようになるということが分かりました。

【医学部免疫学・感染防御学講座】

今回は、安全な菌を4種類用いて、それぞれの菌の培養から始まり、薬剤耐性、染色を行いました。2日間を通じて、疑問に思ったことを質問でき、どうしてこのようになるのか、この操作をすることでどのようになるのかといった深いところまで掘り下げて話を聞く機会をたくさん作れたので良かったです。また、私は今まで臨床医にしか興味がありませんでした。しかし、今回の医学部訪問を通して、研究医として医療に携わる、様々な分野の研究者として医療に携わるといった、医師以外の医療への関わり方を学ぶことができたので、今後の進路の候補をまた増やすことができたので良かったです。

【報告】2年生キャリア教育講演会

リクルートマーケティングパートナーズ 菊池 啓子 先生

10月26日（金）6限に菊池啓子先生をお迎えして、「未来を想像する」と題した講演を行っていただきました。その後、南風館で希望者と進路委員で座談会を行いました。先生の熱い思いがこもった分かりやすいお話に引き込まれ、自分のこととして未来を考え、中身の濃い充実した講演会と座談会でした。参加した生徒の皆さんの感想を紹介します。

- ・将来について明るい気持ちで考えることが大事だということが分かりました。また社会で求められている力は、同じ言葉で表されていても、私たちのイメージとはかけ離れている場合があることも分かりました。大切なことは、何か困ったことがあったときにどうすれば状況が改善されるか考えることであって、それを習慣づけることで、問題解決能力だけでなく、問題を見つける力も身に付くとおっしゃっていたので、自分も取り組もうと思いました。〈講演会〉
- ・将来のことだけでなく、笑っていた方がいいと生きざまも教えていただき、勉強になりました。質問にも真剣に答えてくださり、まだ目標の決まっていないうかだ下り型でも、菊池先生のような素敵な人生が送れることがわかり、私もいかだ下り型で頑張ろうと思いました。人によって、幸せの形はいろいろあることが分かりました。学校の先生とは違う視点から、的確なアドバイスをくださり、とても勉強になり、有意義な時間となりました。〈座談会〉

【予告】第4回教養アップ講座

講師 ノートルダム清心女子大学英語教育センター 調子 和紀 先生

12月6日（木）16時45分～17時45分、本校会議室で、「アクティブ・ラーナーになろうー英語学習が今より好きになるためにー」と題して、第4回南高教養アップ講座が開催されます。

アクティブ・ラーニングの手法を用いて、英文理解からアウトプット活動まで授業形式で行います。理系的な内容を扱いますが、文理関係なく興味関心を持てる内容です。

【予告】第5回教養アップ講座

講師 京都大学大学院農学研究科 三木 健司 先生

12月10日（月）15時45分～16時45分、本校会議室で、「花粉と宇宙人と人類進化」と題して、第5回南高教養アップ講座が開催されます。『人類はなぜ生きるのか』を解く鍵は花粉に眠る！花粉をはじめとする生物粒子を研究する学問『大気生物学』を専攻する大学院生が花粉をキーワードに、地球とは？進化とは？人類の宇宙進出とは？という問題についてみなさんと議論します。ルイ・パスツールにより始まり、近年はNASAも注目する大気生物学の未来をお伝えします。参加希望者は、12月3日（月）までにHR担任の先生に申し出てください。